

# '12-4改訂 組立・施工説明書 サニセーフII ドアHGタイプ

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

## 組立・施工の前に…

商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。  
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

## お願い

- 商品周辺の防水処理を必ず行ってください。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれの無いことを確認してください。  
取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- 施工完了後、説明書の調整方法通り、調整が行われていることを確認してください。  
調整不良は操作不良や異常音の原因になります。
- 障子に照明などの熱源を近づけ無いでください。面材や部品等が変形する場合があります。

## 同梱一覧

■片開きタイプ ※図は、右勝手で示しています。左勝手の場合は部品の取付位置が逆になります。

図	上枠	下枠	右たて枠(戸先側)	左たて枠(吊元側)
部材名	上枠	下枠	右たて枠(戸先側)	左たて枠(吊元側)
品番	K-51877-1	K-51878-1	K-51857-6	K-51857-5
備考	アームストッパー・ ヒボットヒンジ・AT材付	ヒボットヒンジ・AT材・ 水密材付	シーラー・AT材 ラッチ受付	シーラー・AT材 振動止ラッチ付

図	上枠	下枠	右たて枠	左たて枠
部材名	上枠	下枠	右たて枠	左たて枠
品番	K-51877-1	K-51878-1	K-51857-6	K-51857-5
備考	アームストッパー・ ヒボットヒンジ・AT材付	ヒボットヒンジ・AT材・ 水密材付	シーラー・AT材 振動止ラッチ付	シーラー・AT材 振動止ラッチ付

番号	①	②	③	④
品名	ハンドル	ラッチ受カバー (色:グレー)	レバーガイド (色:白)	ラッチスペーサ
品番	5K-14407	2K-32692	2K-33705	2K-32693
個数	1セット	2個	1個	2個
備考	片開きタイプ 親子タイプ	親扉に同梱	枠に同梱	親扉に同梱

番号	⑤	⑥	⑦	⑧
品名	小トラスタッピンねじ2種 (φ4.0×35)	皿木ねじ (φ3.8×40)	丸皿木ねじ (φ3.5×20)	釘
品番	BM-4035G	WF-3840	WO-3520D6	K-6606A
個数	8本	8本	16本	12本
備考	枠組立用	たて枠取付用	額縁取付用	枠に同梱

**シーリングは必ず実施してください!**

「シーリングマーク」で表示している箇所のシーリングは必ず行ってください。  
シーリングがされない、漏水の原因となったり、家屋や家財を傷めるなど重大事故につながるおそれがあります。

**注意**

「電動ドライバー使用禁止マーク」で表示している箇所のねじ止めは必ず手締めで行ってください。  
電動ドライバーを使用すると、部品を变形させたり、ねじ頭をつぶすおそれがあります。

**チェックシート**

組立・施工時、本文中に表示している「チェックマーク」の確認をしてください。

項目	チェック欄
① 組立時、トルク調整をしましたか?	
② シーラーの位置ずれ・折れ曲がりはないですか?	
③ ハンドル部にゴムパッキンを入れましたか?	
④ 枠のねじれ・対角ずれ・ハラミ・つづみの無いことを確認しましたか?	
⑤ 枠まわりのシーリングをしましたか?	
⑥ スペーサーは取外しましたか?	
⑦ 障子吊込み後、開閉操作の確認を行いましたか?	
⑧ 調整後、ねじをしっかりと締めましたか?	

## 1. 枠の組立

※図は片開きタイプ(右勝手)で示しています。

**注意**

シーラーの位置ずれ・折れ曲がりがないことを確認してください。

**注意**

組立時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
枠：2.0~2.5N・m(20~25kgf・cm)程度

## 2. ハンドルの取付

なべ小ねじで脱衣室側ハンドルを取付け、丸皿小ねじで浴室側ハンドルを取付けてください。

**注意**

ゴムパッキンは必ず入れること。  
ガラス割れの原因になります。

**ポイント**

固定用プッシュは、浴室側ハンドルの横穴とあうように取付けてください。

## 3. 枠の取付

- ① 開口部の水平・垂直・面違いを確かめてください。
- ② サッシ枠を開口部へはめ込み、仮止めし、下げ振り・水準器・巻尺などを使用し、水平・垂直・対角寸法を確認してください。
- ③ 枠の左右出入を調整してください。  
(出入を修正し、すき間があれば詰木を入れてください。)
- ④ 枠外部をねじり釘で本付けし、枠内部を皿木ねじでしっかり固定してください。上下枠に対し、たて枠は十分、直角に注意して取付けてください。

**お願い**

垂直度(前後・左右)・対角寸法差は、±1mm以内としてください。  
枠のねじれ・ハラミ・つづみの無いように注意してください。

■垂直度の確認    ■対角寸法の確認    ■ハラミ・つづみの確認

チェック④

$-1 \leq (A-a) \leq +1$   
 $-1 \leq (B-b) \leq +1$

$-1 \leq (C-D) \leq +1$

$E=F=G$

**注意**

躯体側の防水処理は必ず行ってください。

**ポイント**

取付けの際、枠の上下にご注意ください。  
上枠には Y00※※※ウエの刻印が施されています。

## 4. 枠まわりのシーリング

枠まわりをシーリングしてください。

**シーリング**

枠の取付およびシーリング作業を適切に行わないと漏水および操作不良の原因となります。

チェック⑤

## 6. 障子の吊込み

① 障子本体の吊込み

- ① 障子の下ヒンジを下枠の軸にはめ込んでください。
- ② 脱衣室側より吊元側上部のレバーにレバーガイドを挿入し、レバーガイドを上げて軸受にはめ込んでください。

**お願い**

- 障子は必ず開いた状態で作業を行ってください。
- 作業は浴室側から行ってください。

**ポイント**

30°以下に開いた状態で行ってください。

**注意**

- ドアの重量は約30kgあります。取扱いには十分注意してください。
- レバーガイドは施工後に捨ててください。挿入したままでは誤ってレバーを上げることで、障子の脱落の危険があります。

**親子タイプの場合**

子扉から吊込みを行ってください。(子扉に親扉のラッチ受が付いています。)

② アームストッパーとスライダの連結

- ① アームストッパーの軸を上枠内に挿入してください。スライダーより戸先側であればどこでも良いです。
- ② そのままドアを、パチンと音がするまで開いてください。アームストッパーの軸がスライダーに連結されます。

## 5. 緩衝材の取外し

下框の両端にはめ込んである緩衝材を取り外してください。

チェック⑥

**障子の取外し**

- ① 脱衣室側より吊元側上部のレバーにレバーガイドを挿入してください。レバーガイドを上げて軸を枠から外してください。
- ② ハンドルを持ちながらアームストッパーを上げて障子から外してください。
- ③ 障子を持ちながら浴室側へ倒して外してください。

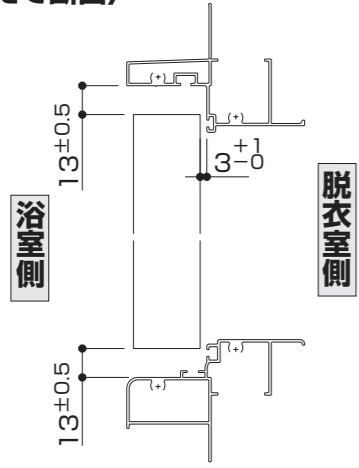
**お願い**

障子にはゴムが付いています。ゴムの損傷防止のため、下部に再度、緩衝材を取付けて、外した障子をたて置きしてください。

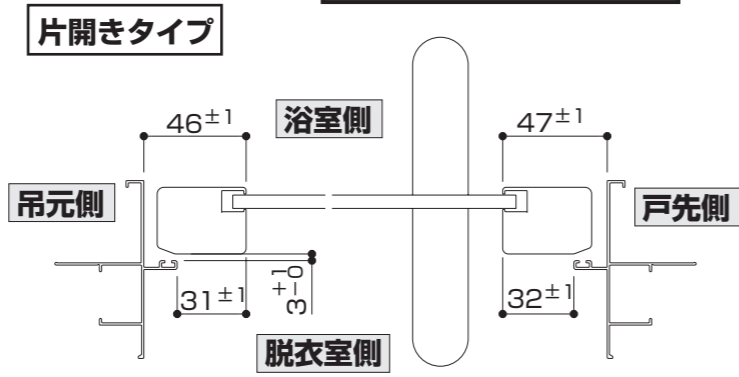
## 7. 吊込み状態の確認

障子を基準に枠の施工をチェックしてください。  
測定箇所は、**両端・中央の3箇所**を測ってください。

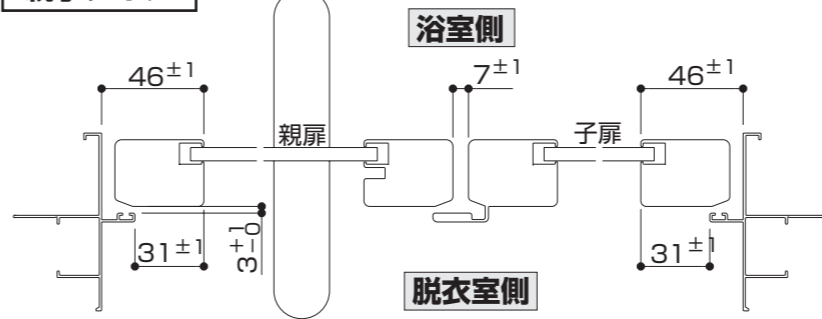
〈たて断面〉



〈横断面〉



親子タイプ



お願い

吊込み後、必ず開閉の確認を行ってください。



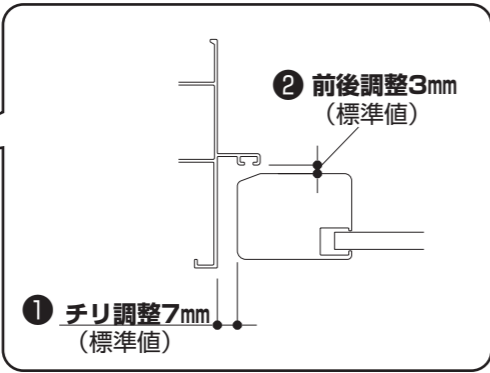
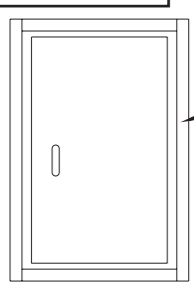
## 8. 調整



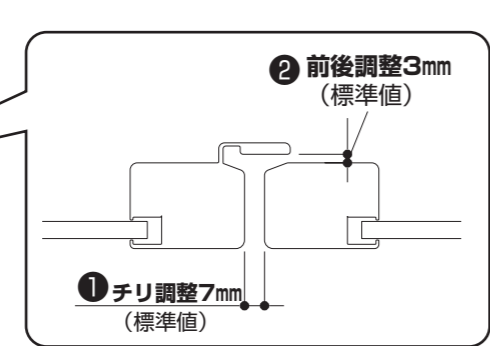
〈ラッチ受の調整〉

次のような場合は、ラッチ受取付用ねじをゆるめ、調整を行ってください。

片開きタイプ

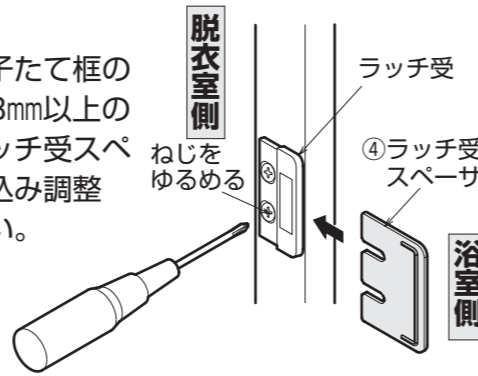


親子タイプ



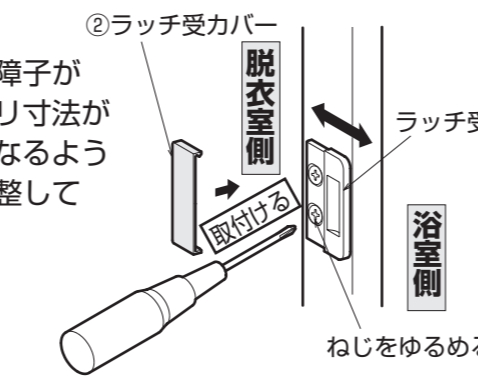
①チリ調整

たて枠と障子たて枠のチリ寸法が8mm以上の場合は、ラッチ受スペーサーを差込み調整してください。



②前後調整

枠のゴムと障子が密着し、チリ寸法が4mm以下になるように前後に調整してください。

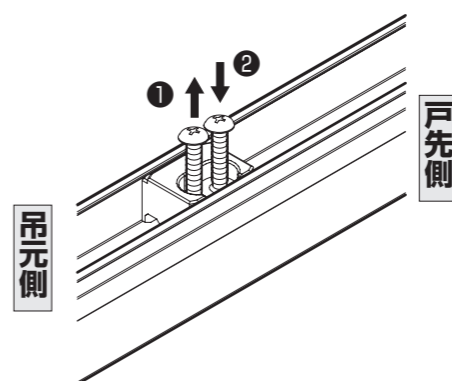


〈アームストッパーの調整〉

●開き角度を大きくする場合

障子側

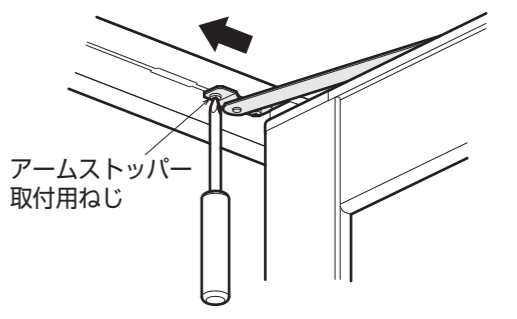
初期設定は、親扉約70°、子扉約80°となっています。開き角度を大きくしたい場合は、障子の上框上部のストッパー部品のねじを外して、②の穴に留め直してください。



●開き角度を小さくする場合

枠側

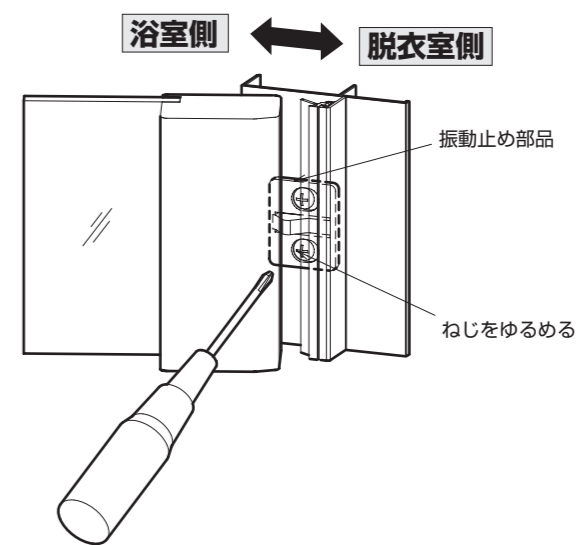
障子を全開にした時、壁やタオル掛けなどと干渉する場合は、アームストッパーの固定位置をずらして、障子の開き角度を調整し、留め直してください。



〈振動止めラッチの調整〉

前後調整

枠のゴムと障子が密着し、チリ寸法が4mm以下になるように前後に調整してください。



お願い

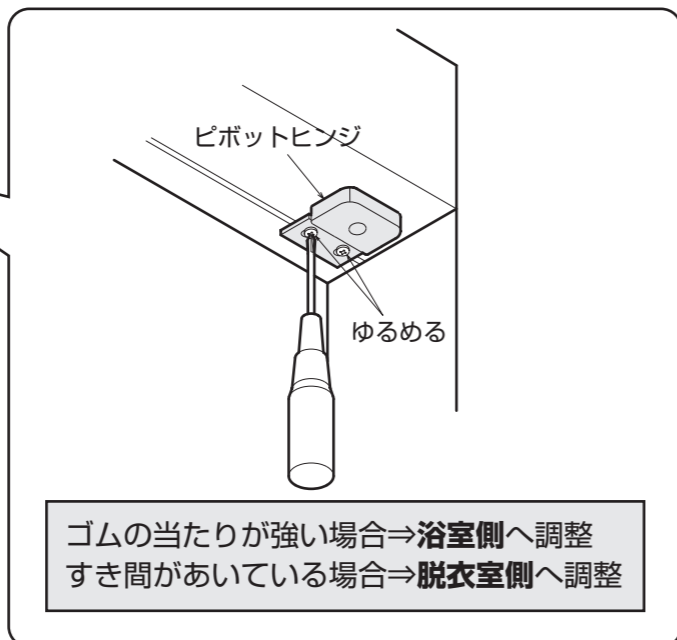
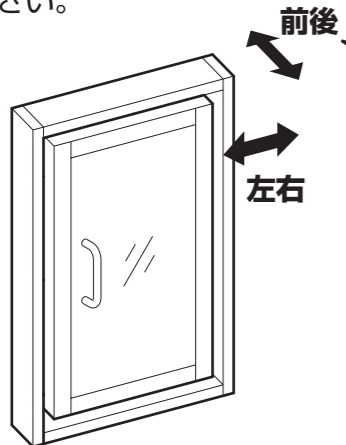
ラッチの確認・調整は必ず行ってください。  
枠のゴムと障子が密着していないと、漏水の原因となります。

注意

電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がつぶれ、ラッチ調整ができなくなりますので使用しないでください。

〈ピボットヒンジの調整〉

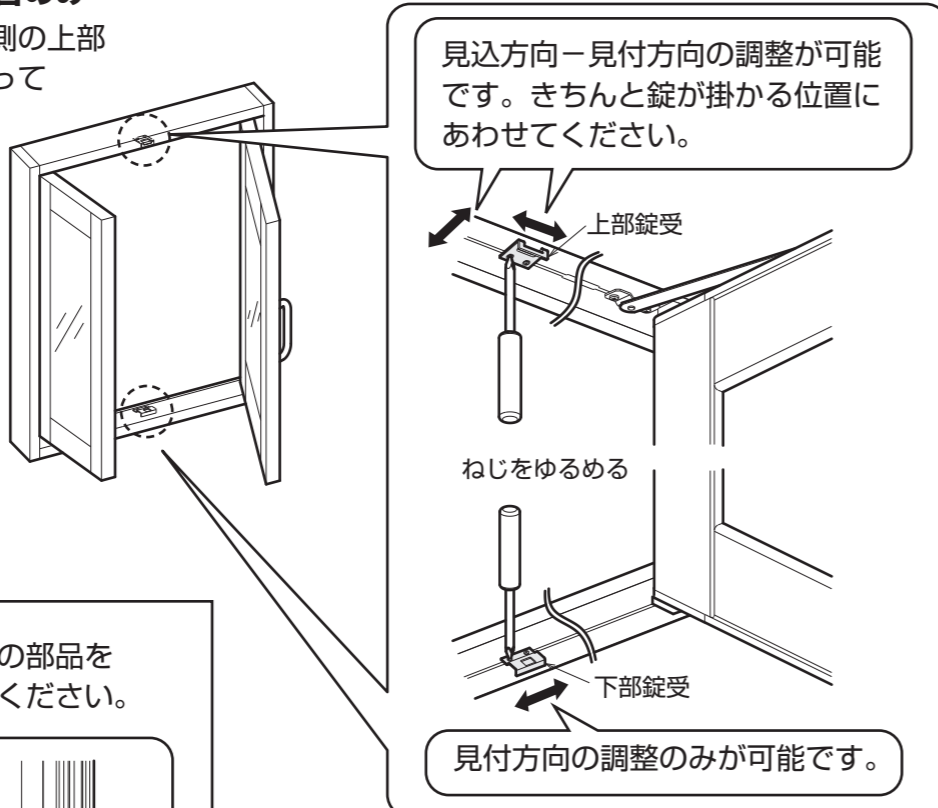
次のような場合は、ピボットヒンジのねじをゆるめ、調整を行ってください。



ゴムの当たりが強い場合⇒浴室側へ調整  
すき間があいている場合⇒脱衣室側へ調整

〈錠受の調整〉親子タイプの場合のみ

子扉戸先の錠位置にあわせて、枠側の上部および下部錠受の位置あわせを行ってください。



見込方向-見付方向の調整が可能です。きちんと錠が掛かる位置にあわせてください。

上部錠受

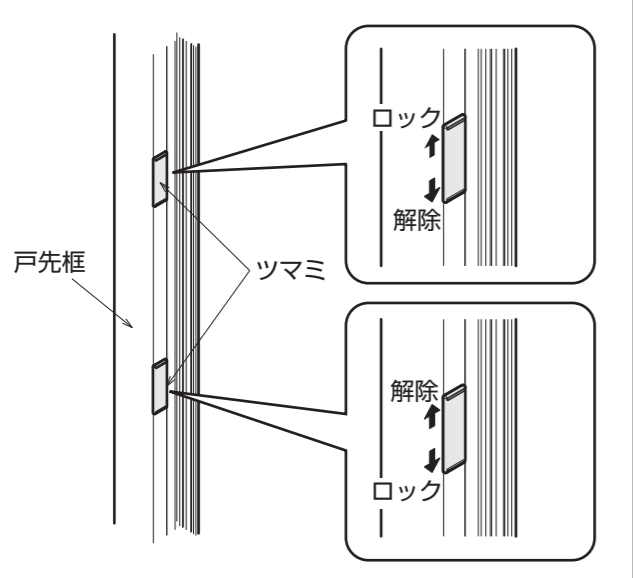
ねじをゆるめる

下部錠受

見付方向の調整のみが可能です。

子扉のロック方法

子扉のたて枠に付いている上下の部品をスライドさせ、子扉を固定してください。



お願い

すべての調整において、調整後は再度ねじをしっかりと締めてください。

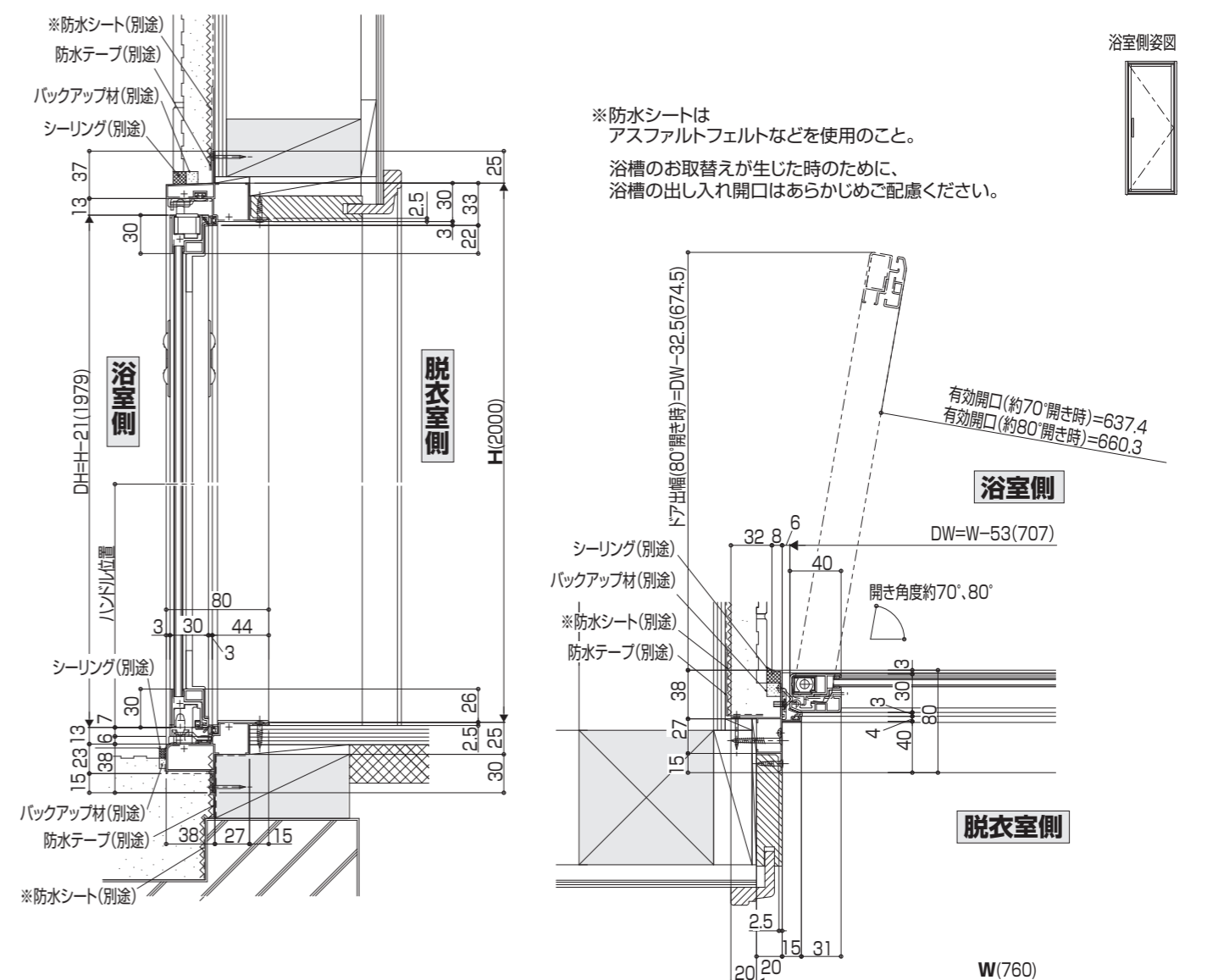


注意

あくまでも補助的な調整で、施工のくいをカバーするものではありませんのでご注意ください。

## 納まり参考図 (単位: mm)

半外付枠



※防水シートはアスファルトフェルトなどを使用のこと。  
浴槽のお取替えが生じた時のために、浴槽の出し入れ開口はあらかじめご配慮ください。